

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

N o . 64 平成21年4月（平成20年1月～3月分）

西海区水産研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）	
水 産 業 の 動 向	山口県	*1月ヨコワ(クロマグロ幼魚)の好漁続く。 *3月16日から中型まき網の操業を開始し、マルアジ、サバ仔主体の漁となった。	*萩沖の表層水温は1.3～1.8℃高めで推移した。	*特になし	*特になし
	福岡県	*筑前海： ・イカナゴ禁漁 ・コウイカ不漁、ケンサキイカ不漁 ・トラフグ不漁 *有明海： ・タイラギ漁業：3月で終了 潜水器・・・不漁 徒取り・・・やや好漁 ・アサリ：3月から本格操業 漁獲状況は平年並み ・シバエビ：2月上旬まで操業、漁期を通して近年にない好漁 *豊前海： ・小型底びき網漁業の漁況は比較的順調 ・特にヨシエビ、シバエビ等のエビ類の漁獲が多い ・アサリ資源は非常に少ない状況 *内水面： ・シラスウナギは豊漁 ・ワカサギは日向神ダムで不漁 ・アユの遡上は例年よりやや早い ・筑後川のモクスガニ遡上は前年よりも少ない	*筑前海： 水温 塩分 1月 高め やや低め 2月 やや高め やや低め 3月 高め やや低め *有明海： 水温：1月は平年並み 2月～3月はかなり高め 比重：1月～2月は平年並み 3月はやや低め 赤潮：発生なし *豊前海： ・表層及び底層の水温は、1月が平年並み、2～3月が平年よりかなり高めで推移。 ・表層及び底層の塩分は、平年並みからやや高めで推移。 ・赤潮、貝毒発生なし	*有明海： <ノリ養殖経過> ・4月10日に終了 ・漁期総生産は生産枚数14億4,413万枚(平年並み) 生産金額は132億756万円(平年の1割減) *豊前海： ・カキ養殖は、へい死が多かったものの、身入りが非常に良好 ・ノリ養殖は前年同様、質、量共に良好 *内水面： ・アユ稚魚放流	*内水面： ・2月～3月中旬は継続的な降雨により県内各河川とも流量はやや回復傾向
	佐賀県	*玄海： ・下記魚種の水揚量(漁連)は、平年(H16～20の平均)と比べて減少。 イサキ：平年の30% コウイカ類： 〃 55% *有明： タイラギ潜水器漁業は12月23日から3月24日まで操業され、貝柱水揚量は約940kgであった。 イイダコが2月中旬ごろから豊漁。	*玄海： ・老岐、対馬東水道の水温は、平年並からかなり高めで推移した。 ・沿岸域(唐津湾)の水温は、1月下旬に甚だ低めであったが、その他の時期は、平年並から甚だ高めで推移した。 *有明： 水温は、平年に比べ1月が低め、2,3月が高めに推移した。比重は、平年に比べやや低めで推移した。	*有明： ・アゲマキ稚貝放流 ・ノリ養殖は、1月5日から冷凍網期が開始された。珪藻赤潮が1月9日に太良町地先で発生し、拡大したため、西南部地区では、重度の色落ちが発生し、被害となった。 冷凍網期(3月末現在) 共販枚数 1,181,423千枚 販金額 12,047,273千円	*特になし
	長崎県	*特になし	*特になし	*特になし	*特になし
	熊本県	*有明海沿岸の干潟域でのアサリ漁獲について(1～2月) 聞き取り調査によると、3トンの漁獲があつているが、前年同時期の340トンと比較して0.9%となり前年よりかなり少なめ。 *天草漁協牛深総合支所後浜新港に水揚げされた中型まき網漁業のアジ・サバ・イワシ類の漁獲量(1-3月)は前年同期(1,839t)及び平年同期*(1,608.3t)とも下回った。	*海況(1～3月) 水温：有明海が平年並みからやや高め、八代海が平年並みからかなり高め。 塩分：有明海が平年並みからやや低め、八代海が平年並みからかなり低め。 *赤潮発生状況(：以降は期間) ・有明海：発生なし ・八代海： 1. Akashiwo sanguinea : 1.28～3.24	*クルマエビ類の急性ウイルス血症(PAV)の発生は確認されなかった。 *ノリ養殖は、1月以降に冷凍網の本格生産が始まった。冷凍網期は、育苗履歴が不良だったことや日照の不足などによってノリ芽の生育が鈍るとともに、病害の影響も加わり、昨年に比べ収量は大きく減少した。 3月末現在(全海苔含む)の生産枚数は9.9億枚(対前年比73.1%)、生産金額は88.0	*特になし

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

N o . 64 平成21年4月（平成21年1月～3月分）

西海区水産研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）																												
水	熊本県 *H15～H19年 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>漁獲量</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>50t</td> <td>5038.2%</td> <td>120.5%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>231t</td> <td>4095.1%</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>マイワシ</td> <td>1t</td> <td>2.5%</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>カタクチ</td> <td>0t</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>ウルメ</td> <td>475t</td> <td>119.1%</td> <td>240.4%</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>757t</td> <td>41.2%</td> <td>47.1%</td> </tr> </tbody> </table>	魚種	漁獲量	前年比	平年比	マアジ	50t	5038.2%	120.5%	サバ類	231t	4095.1%	92.7%	マイワシ	1t	2.5%	1.2%	カタクチ	0t	0.0%	0.0%	ウルメ	475t	119.1%	240.4%	全 体	757t	41.2%	47.1%	2. <i>Eucampia zodiacs</i> , <i>Chaetoceros</i> spp. : 2.2～継続中 ・天草海：発生なし	億円(対前年比75.5%)、平均単価は8.90円(前年より0.28円高)。	
	魚種	漁獲量	前年比	平年比																												
マアジ	50t	5038.2%	120.5%																													
サバ類	231t	4095.1%	92.7%																													
マイワシ	1t	2.5%	1.2%																													
カタクチ	0t	0.0%	0.0%																													
ウルメ	475t	119.1%	240.4%																													
全 体	757t	41.2%	47.1%																													
産	大分県 *豊後水道域 トラフグの漁獲が低調 まき網：カタクチイワシ、マアジなど 底曳網：コウイカ、エン類など 釣り：マアジ、マサバ、タチウオ、コウイカ、マダイ、ブリなど 定置網：メジナ、マアジ、ブリ、キビナゴなど	*豊後水道表面水温 1月：平年並～-0.5℃ 2月：平年並 3月：平年並～+1.0℃ *豊前海水温「平年並～やや高め」 *県南部佐伯市の猪串湾でギムノディニウム・カテナータム出現	*特になし	*特になし																												
	宮崎県 *まき網(主要港)： 総漁獲前年比(速報値) 1月 41.0% 2月 15.6% 3月 68.4% 1～3月 39.9% 魚種別1～3月前年比 マイワシ 12.8% ウルメ 37.7% カタクチ 38.0% マアジ 86.8% サバ類 54.3% *船曳網： (延岡管内速報値) 1～3月前年比 29.1%	*日向灘沿岸定線調査結果： 表面水温 表面塩分 1月 かなり高め かなり低め 2月 平年並み 著しく低め 3月 平年並み 著しく低め 但し、南部沖合の黒潮影響域を主体に持続的な高め傾向	*特になし	*特になし																												
業 の 動	鹿児島県 *主要4港のまき網水揚調査 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>76%</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>75</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>ウルメイワシ</td> <td>101</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>カタクチイワシ</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>ムロアジ類</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> *カタクチイワシは、産卵親魚の来遊が見られず極端な不良となった。	魚種	前年比	平年比	マアジ	76%	76%	サバ類	75	85	ウルメイワシ	101	110	カタクチイワシ	0.1	0.3	ムロアジ類	8	1	*特になし	*特になし	*特になし										
	魚種	前年比	平年比																													
マアジ	76%	76%																														
サバ類	75	85																														
ウルメイワシ	101	110																														
カタクチイワシ	0.1	0.3																														
ムロアジ類	8	1																														
向	沖縄県 *今期(1月～3月)のソデイカ漁獲量は、前年並みに減少しつつあるが、通期では4年ぶりに2,000トン回復しそうである。	*特になし	*特になし	*特になし																												

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

No. 64 平成21年4月（平成21年1月～3月分）

西海区水産研究所

	水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）
その他 (国への要望等)				* 玄海 ・養殖衛生管理講習会の開催 ・食品衛生研修会の開催(佐賀県)